

2018年(平成30年)3月期

第1四半期 決算説明資料

沢井製薬株式会社

東京証券取引所市場 第一部

証券コード:4555

2017年8月14日

2018年3月期 第1四半期決算概要

- ◆ジェネリック医薬品市場の伸び鈍化と受託売上の大幅な減少により、売上高は前年同期比2.1%増に留まる
- ◆営業利益は、M&A関連費用を除くと前年同期比13.7%増加

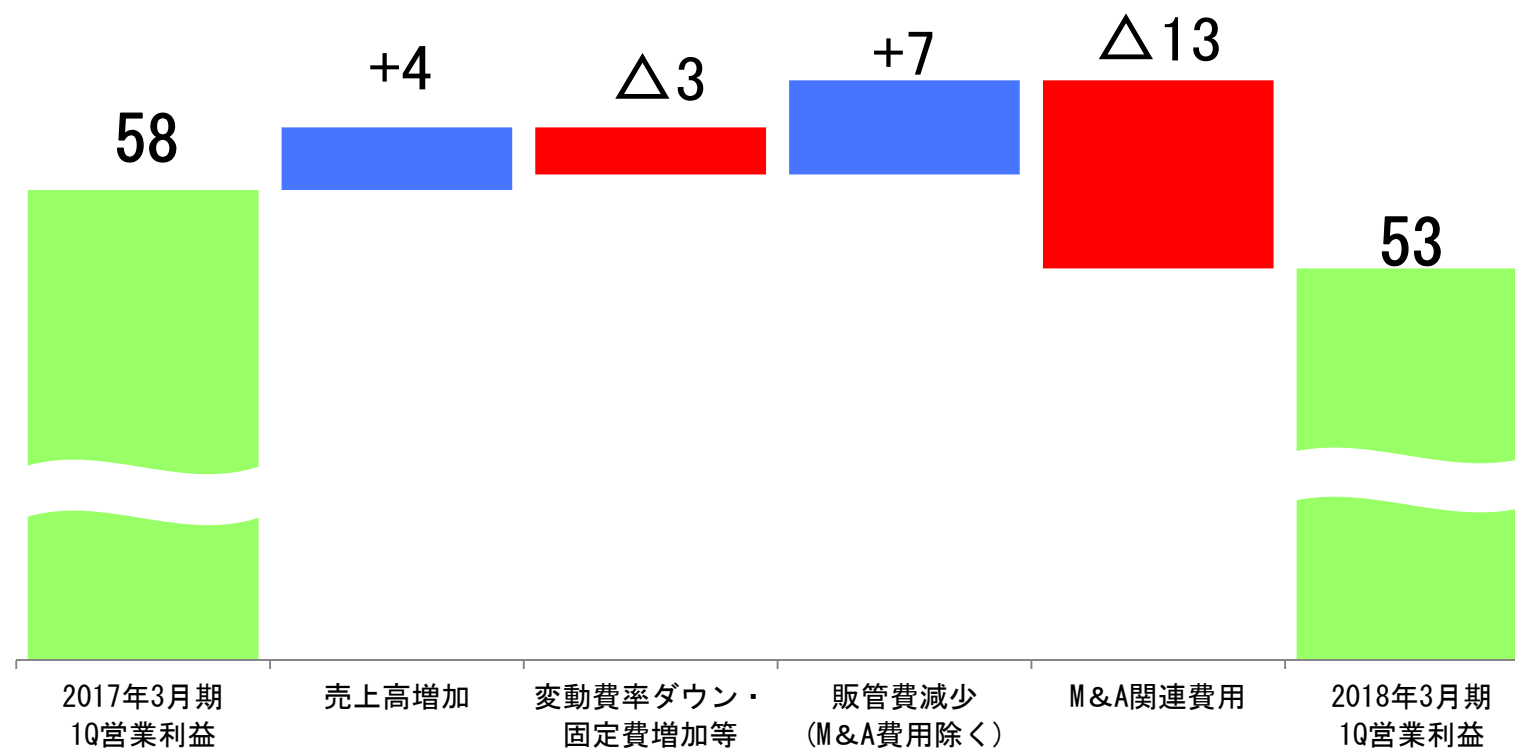
(単位:百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		前年同期比	
	1Q		1Q		増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	率
売上高	32,948	100.0%	33,646	100.0%	697	2.1%
営業利益	5,891	17.9%	5,376	16.0%	△ 514	△8.7%
営業利益(特殊要因除く)※	5,891	17.9%	6,696	19.9%	805	13.7%
経常利益	5,914	17.9%	6,109	18.2%	195	3.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,357	13.2%	4,656	13.8%	299	6.9%

※ 特殊要因: 米国Upsher-Smith Laboratories, LLC(USL)買収関連費用

営業利益の増減要因分析

(単位:億円)



医療機関別 納入実績 (単体)

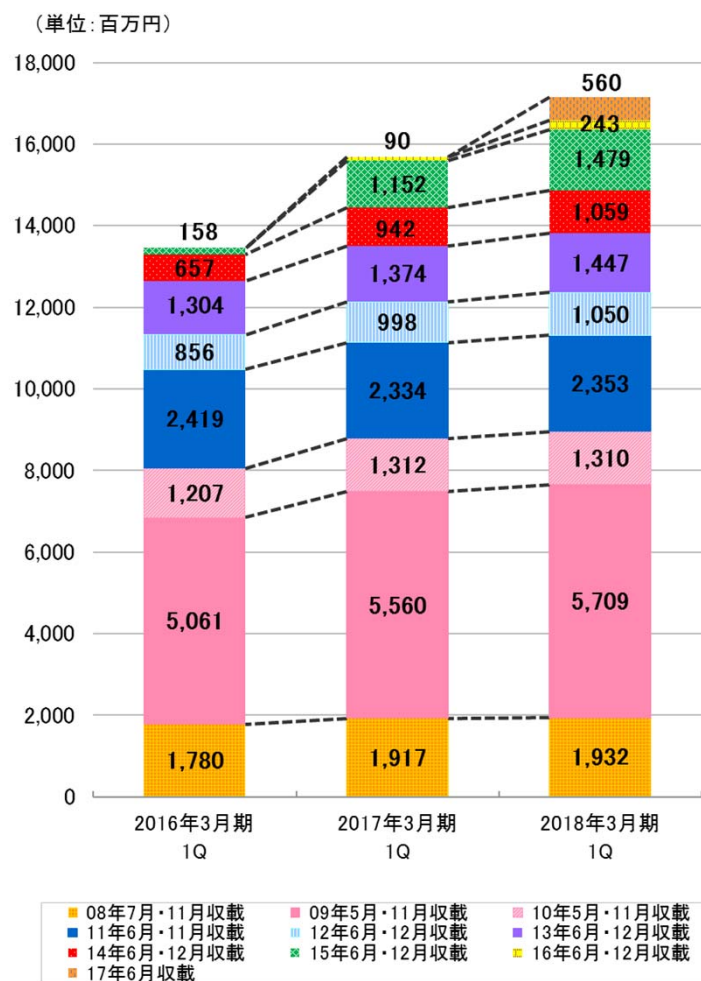
◆ 病院、薬局とも採用金額の伸びは若干弱いものの、全般的に増加

(単位: 軒、%)

施設区分	全国総軒数 (a)	2017年3月期 1Q		2018年3月期 1Q			前年同期比	
		採用軒数	採用金額 構成比	採用軒数 (b)	カバー率 (b/a)	採用金額 構成比	採用軒数 増減	採用金額 増減率
病院	8,477	7,698	12.8%	7,804	(92.1%)	13.1%	106	8.9%
DPC対象病院	1,667	1,643	7.9%	1,644	(98.6%)	8.0%	1	7.0%
診療所	105,433	28,570	10.3%	29,624	(28.1%)	10.0%	1,054	3.2%
薬局等	87,974	55,165	75.8%	55,836	(63.5%)	75.2%	671	5.3%
保険薬局	60,509	54,854	75.2%	55,560	(91.8%)	74.7%	706	5.3%
薬店等	27,465	311	0.5%	276	(1.0%)	0.6%	△ 35	7.8%
その他	-	-	1.1%	-	-	1.7%	-	46.9%
総計	201,884	91,433	100.0%	93,264	(46.2%)	100.0%	1,831	6.1%

収載年度別 売上高推移

- ◆ 2014年度以降収載品の売上が順調に増加
- ◆ 2017年度新製品の売上は、想定通り推移



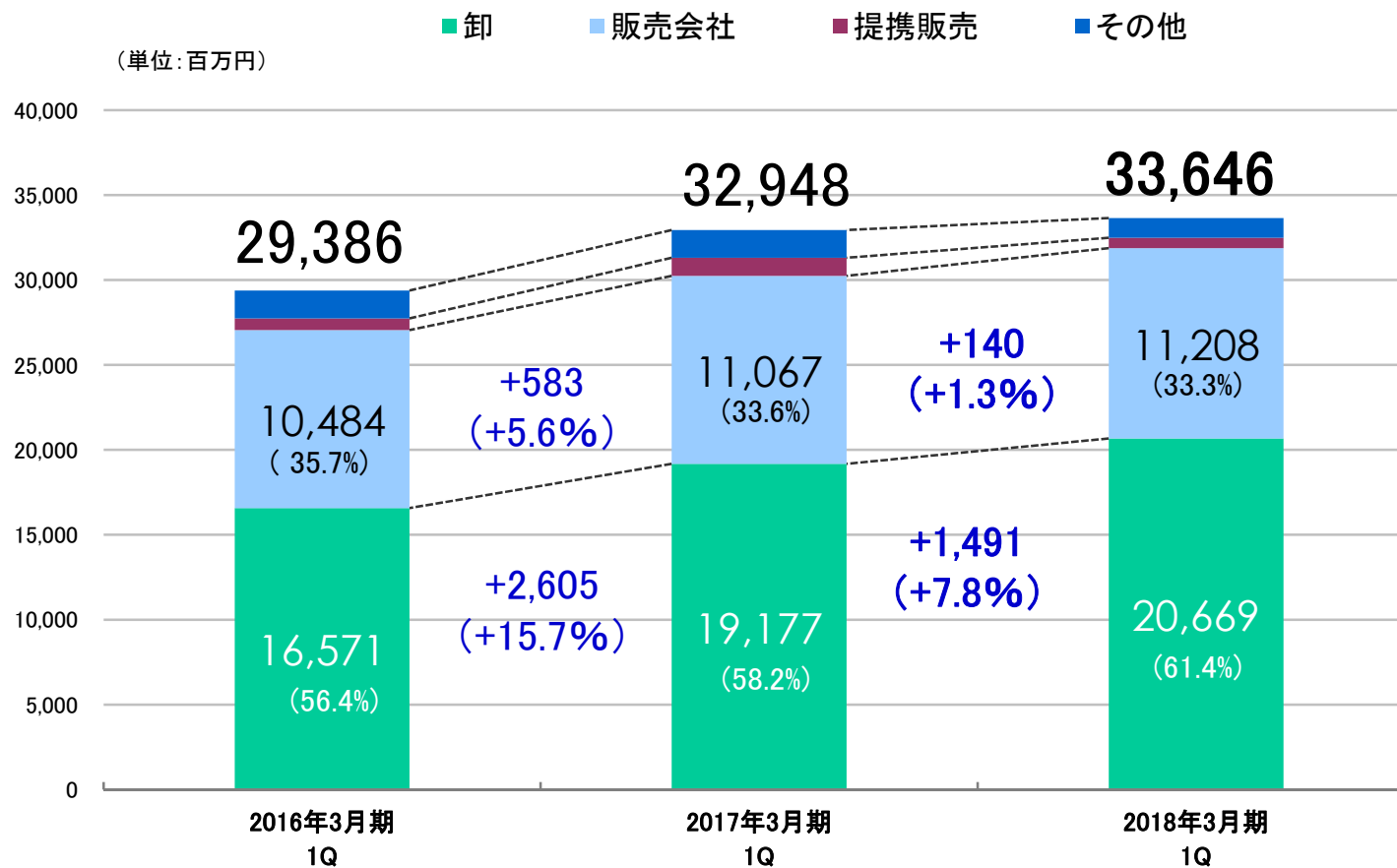
※既存・承継品他には鹿島工場の受託売上を含む。

(単位:百万円)

収載年月	2017年3月期 1Q	2018年3月期 1Q	前年同期比 増減率
17年6月収載	-	560	-
16年6月・12月収載	90	243	168.5%
15年6月・12月収載	1,152	1,479	28.4%
14年6月・12月収載	942	1,059	12.4%
13年6月・12月収載	1,374	1,447	5.3%
12年6月・12月収載	998	1,050	5.2%
11年6月・11月収載	2,334	2,353	0.8%
10年5月・11月収載	1,312	1,310	△0.1%
09年5月・11月収載	5,560	5,709	2.7%
08年7月・11月収載	1,917	1,932	0.8%
既存・承継品他	17,264	16,499	△4.4%
総計	32,948	33,646	2.1%

販路別 売上高推移

◆ 薬局・病院分野に幅広い販売チャネルを持つ卸ルートが伸張



薬効別 売上数量動向

◆ 循環器官用薬、中枢神経系用薬が順調に増加

薬効	数量構成比		前年同期比 数量増減率	前年同期比 売上額増減率 (注)
	2017年3月期 1Q	2018年3月期 1Q		
循環器官用薬	26.8%	27.8%	5.2%	6.3%
消化器官用薬	23.3%	23.3%	1.7%	△0.5%
中枢神経系用薬	12.0%	12.3%	3.4%	6.4%
血液・体液用薬	8.1%	7.8%	△2.8%	0.3%
その他の代謝性医薬品	7.2%	6.7%	△5.2%	5.8%
呼吸器官用薬	6.5%	5.7%	△10.8%	△3.4%
抗生物質製剤	2.8%	2.7%	△3.1%	△0.3%
アレルギー用薬	2.2%	2.4%	8.5%	11.4%
腫瘍用薬	0.2%	0.2%	16.2%	11.7%
その他	10.9%	11.1%	3.1%	7.4%
合計	100.0%	100.0%	1.4%	4.1%

(注:鹿島工場の受託売上を除いて算出)

2018年3月期 業績予想(IFRS)

- ◆ 第1四半期の業績は、ほぼ計画通りの進捗であったことから、期初の業績予想は据え置く
- ◆ 米国Upsher-Smith Laboratories, LLC (USL) 買収による損益への影響を踏まえた通期業績予想は、PPAなどの会計処理が確定次第公表予定

(単位：百万円)

日本基準	2017年3月期 通期		IFRS	2017年3月期 通期(監査前)		2018年3月期 通期業績予想		
	金額	売上比		金額	売上比	金額	売上比	前期比 増減率
売上高	132,428	100.0%	売上収益	132,392	100.0%	142,000	100.0%	7.3%
売上原価	80,308	60.6%	売上原価	80,497	60.8%	85,300	60.1%	6.0%
売上総利益	52,119	39.4%	売上総利益	51,895	39.2%	56,700	39.9%	9.3%
販売管理費 (研究開発費を除く)	21,277	16.1%	販売管理費 (研究開発費を除く)	21,119	16.0%	23,900	16.8%	13.2%
研究開発費	10,207	7.7%	研究開発費(※1)	7,211	5.4%	8,300	5.8%	15.1%
—			その他の損益	△ 577	—	△ 300	—	—
営業利益	20,633	15.6%	営業利益	22,987	17.4%	24,200	17.0%	5.3%
経常利益	20,557	15.5%	金融収益・費用	△ 186	—	△ 400	—	—
税引前利益	19,870	15.0%	税引前利益	22,801	17.2%	23,800	16.8%	4.4%
親会社株主に 帰属する当期純利益	15,914	12.0%	親会社の所有者に 帰属する当期利益	17,984	13.6%	18,200	12.8%	1.2%

※1 研究開発費のうち、2017年3月期は28億円、2018年3月期は20億円を無形固定資産に計上すると想定

※2 2018年3月期の業績予想には、USLの買収に関わる諸費用(約18億円)は織り込んでいるが、売上と収益の連結業績への影響は一切織り込んでいない。

【参考】2018年3月期 業績予想(日本基準)

◆ 日本基準での2018年3月期業績予想に対する進捗は以下の通り

(単位:百万円)

	2018年3月期 1Q		2018年3月期 通期(予想)		
	金額	売上比	金額	売上比	進捗率
	売上高	33,646	100.0%	142,000	100.0%
営業利益	5,376	16.0%	22,500	15.8%	23.9%
営業利益(特殊要因除く)※	6,696	19.9%	24,300	17.1%	27.6%
経常利益	6,109	18.2%	22,300	15.7%	27.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,656	13.8%	16,700	11.8%	27.9%

※ 特殊要因:USL買収関連費用

USLの取締役会メンバー

sawai

UPSHER-SMITH

◆ 買収完了後の6月1日より、新たな経営体制が始動

氏名	役職	沢井製薬における現職
澤井 健造	Chairman	取締役 専務執行役員 戦略企画部長 兼 営業本部管掌
佐々木 雅啓	Vice Chairman	上席執行役員 戦略企画部 海外事業担当
Rusty Field	President & CEO	—
末吉 一彦	Executive Administration	上席執行役員 経営管理部長
横田 祥士	Executive R&D	執行役員 研究開発本部副本部長 兼 物性研究部長

USLとの協働ビジョンと戦略

sawai

UPSHER-SMITH

USLとの
協働ビジョン

Sawaiグループが
「世界から認知されるジェネリック医薬品企業」となる

両社の戦略

USL

常に堅実なパイプラインを維持しつつ、競争優位性を確保した希少領域を狙う

Sawai

沢井製薬が有する製品及び技術を米国市場に展開することにより、相乗的に収益を獲得する

米国での
戦術

米国における
知財戦略の強化

米国製品
ラインアップの拡大

米国における
更なる成長に
向けた
安定供給の確立

日本発新製品の
米国販売チャネルの活用

新たな
企業ブランド
エクイティの確立

■ 双方の強みを活かした
オペレーションの効率化

■ 協働メリットの最大化
(コスト最適化)

(参考)連結財務ハイライト-1

(単位:百万円、%)

	2017年3月期	2018年3月期	
	1Q	1Q	前年同期比
損益計算書項目			
売上高	32,948	33,646	2.1
売上原価	19,320	19,884	2.9
売上総利益	13,628	13,762	1.0
販管費	7,737	8,385	8.4
営業利益	5,891	5,376	▲ 8.7
経常利益	5,914	6,109	3.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,357	4,656	6.9
貸借対照表項目			
総資産	221,538 ※1	354,923	-
純資産	137,600 ※1	140,076	-
自己資本比率(%)	62.0 ※1	39.4	▲ 22.6

2018年3月期業績予想(IFRS)		
	通期	前期比
損益計算書項目		
売上収益	142,000	-
売上原価	85,300	-
売上総利益	56,700	-
販管費※2	23,900	-
営業利益	24,200	-
税引前利益	23,800	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	18,200	-
貸借対照表項目		
総資産	-	-
純資産	-	-
自己資本比率(%)	-	-

※1 2017年3月末との比較

※2 研究開発費を除く

(参考)連結財務ハイライト-2

(単位:円、%)

	2017年3月期	2018年3月期	
	1Q	1Q	前年同期比
収益性・効率性指標			
売上総利益率	41.4	40.9	▲ 0.5
売上高販管費率	23.5	24.9	1.4
売上高営業利益率	17.9	16.0	▲ 1.9
売上高経常利益率	17.9	18.2	0.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	13.2	13.8	0.6
1株当たり情報 ◆			
1株当たり四半期純損益	118.19	126.31	6.9
(潜在株式調整後)	118.13	126.23	6.9
1株当たり純資産	3,722.90 ※1	3,789.15	1.8
1株当たり年間(中間)配当金	-	-	-

※1 2017年3月末との比較

※2 研究開発費を除く

2018年3月期業績予想(IFRS)		
	通期	前期比
収益性・効率性指標		
売上総利益率	39.9	-
売上高販管費率※2	16.8	-
売上高営業利益率	17.0	-
売上高税引前利益率	16.8	-
売上高当期純利益率	12.8	-
1株当たり情報 ◆		
1株当たり当期純損益	493.65	-
(潜在株式調整後)	-	-
1株当たり純資産	-	-
1株当たり年間(中間)配当金	130	-

(参考)連結財務指標-1

(単位:人、百万円)

人員情報	2017年3月期		2018年3月期		前年同期比	
従業員数	1Q	構成比(%)	1Q	構成比(%)	1Q	増減率(%)
生産	727	(45.1)	1,773	(66.5)	1,046	(143.9)
研究開発	220	(13.6)	246	(9.2)	26	(11.8)
管理・営業	665	(41.3)	649	(24.3)	▲ 16	(▲ 2.4)
(MR)	502		498		▲ 4	(▲ 0.8)
合計	1,612	(100.0)	2,668	(100.0)	1,056	(65.5)
外、平均臨時雇用	1,095	-	417	-	▲ 678	(▲ 61.9)
人件費	1Q	対売上比率(%)	1Q	対売上比率(%)	1Q	増減率(%)
合計	4,969	(15.1)	5,528	(16.4)	559	(11.2)

(参考)連結財務指標-2

(単位:百万円)

販売管理費	2017年3月期		2018年3月期		2018年3月期業績予想(IFRS)	
	1Q	対売上比率(%)	1Q	対売上比率(%)	通期	対売上比率(%)
試験研究費	2,582	(7.8)	2,150	(6.4)	8,300	(5.8)
前年同期比		(67.7)		(▲ 16.7)		(-)
広告宣伝費	599	(1.8)	342	(1.0)	1,500	(1.1)
前年同期比		(▲ 5.4)		(▲ 42.8)		(▲ 27.7)

設備投資関連	2017年3月期		2018年3月期		2018年3月期業績予想(IFRS)	
	1Q		1Q		通期	
設備投資額(投資ベース)	3,219		2,626		15,700	
減価償却費						
生産	1,450		1,860		7,800	
研究・開発	328		322		1,400	
管理・営業	216		135		600	
合計	1,994		2,318		9,800	

※ 2018年3月期の試験研究費は、IFRSの適用により、20億円が無形固定資産に計上されることを想定

・本資料に記載されている弊社グループの計画・予測・戦略などにつきましては、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断にもとづくものです。従って、潜在的リスクや不確定要素により、実際の業績と異なる可能性があります。

・潜在的リスクや不確定要素には、弊社グループの主たる事業領域であります医療用医薬品を中心とした経済環境、市場における競争状況、弊社グループのサービス等が考えられますが、これらに限定されるものではありません。

お問い合わせ先

沢井製薬株式会社

戦略企画部 広報・IRグループ

E-mail : ir@sawai.co.jp

Phone. : 06-6105-5823